

## 今回のテーマ

# 「標準生命表」改定

平成30年4月より、各保険会社において「標準生命表改定」に伴う、保険料率の改定がありました。



### ●「標準生命表」とは

「標準生命表」とは、「死亡率」「平均余命(将来の生存期間の平均値)」を年齢・性別ごとに算出した統計表です。保険会社は、この「標準生命表」の「死亡率」「平均余命」の数値を元に保険料を決めています。

背景にあるのは、医療技術の進歩や景気の回復で自殺者が減ったこととされており、平均寿命は2007年に比べて男女とも1歳以上延びています。

### ●「標準生命表」と保険料の関係

「標準生命表」の数値で「平均余命が長くなった」ということは、「長生きする人が増えた」ということになります。亡くなる方の人数が減ると、保険会社が支払う死亡保険金が減ることとなり、終身保険や定期保険などの死亡保険の保険料は下がります。

しかし、長寿化が進み、病気になって入院する人が増えると、医療保険やガン保険などの保険料が今後上がっていくことが予想されます。

今一度、保障内容、保険金、保険料の見直しをしてみてもいいかもしれません。  
当事務所でもお手伝いさせていただきます。



担当：堀内 勇一